

クイズのこたえ

ここは、日本最古の温泉がある
「どうご（道後）」のまちだよ。

めいろ 迷路・かくし絵の時代

「湯のまち道後迷路・かくし絵」の舞台は、明治28年から38年ころの道後のまち。

明治23年に道後湯之町の町長となった伊佐庭如矢さんは、十数年をかけて、たくさんの観光客が訪れるまちづくりに取りくんだよ。100年後もひととに親しまれる温泉をめざして道後温泉本館を3階建てにつくりかえ、三津や一番町と道後を鉄道でむすび、雑木や竹藪でおおわれていた道後公園をきれいにして人びとのいこいの場にしました。

明治28年秋には正岡子規さんや夏目漱石さんが道後をおとすれ、散策しながら俳句をつくったよ。漱石さんの小説『坊っちゃん』（明治39年作）には、道後のまちがたくさん出てくるよ。

さあ、伊佐庭町長・子規さん・漱石さん・小説『坊っちゃん』の登場人物たちが過ごした明治時代の道後にタイムスリップ!!



『坊っちゃん』の

登場人物をさがせ!!



坊っちゃんを探せ!

主人公の坊っちゃんは、東京から来た中学校の数学の先生。毎日夕方になると赤いタオルを腰からぶら下げて、運動がてら汽車や徒歩で道後へ出かけたとか。2カ所にいるよ!



山嵐を探せ!

坊っちゃんがつとめる中学校の数学の先生。たくましい体で、いがり坊主のように髪の毛が短い山嵐。どこにいるかな?



マドンナを探せ!

松山で一番きれいなお嬢さまとして評判のマドンナ。どこにいるかな?



赤シャツを探せ!

年中赤いシャツを着ているという中学校の教頭先生。道後の温泉や料理屋・宿屋にかよっていたとか。どこにいるかな?

